

第2学年で「道徳プラス」講演会を実施しました（1/15）

1月15日（金）4時間目、第2学年の生徒が「道徳プラス」の一環として、講演会を実施しました。講師として土浦一高の谷口実先生をお招きし、生徒たちにご自身のカンボジア等におけるボランティア体験を話していただきました。

カンボジアには電気・水道・ガスが利用できない地域が多いそうです。講演では、そこで暮らしている人々の様子をパワーポイントで編集された画像を交えて紹介し、そこで私たちができることは何なのかを熱く語ってくださいました。

お話の中で、カンボジアの紙幣 500 リエルの裏側には日本の「日の丸」が描かれている点に触れました。その理由は、メコン川に架けられた「きずな橋」が日本政府からの援助で造られたもので、カンボジアの発展や生活に欠かせない橋であることから、日本に対する敬意をもって紙幣に描いてあるそうです。また、ゴミ捨て場に住居を構えて生活している人々がいること、医療機器が備わっていない病院が多く存在するという、カンボジア社会の厳しい現状についても説明していただきました。実体験として、ボランティアの人たちと水道がない地域に井戸を掘って水がでるように水道を造ったこともあるとのことでした。

生徒たちは、「カンボジアに、多くの地雷が残っている現状を知ることができ、私たち日本人の生活がいかに恵まれているかを実感した」、「多くの国でボランティア活動を行っている谷口先生の話聴いて、自分も何か貢献できることがないか考えるきっかけになった」などの感想を述べていました。

なお講演会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、クラス間の距離をとったうえで、実施しました。



谷口先生による講演会が始まりました



距離をとって講演に臨みました